

「どんぐりっこ」、高森山に根付く 年6回のイベント、キャンセル待ちも

高蔵寺ニュータウンに残された里山、高森山をフィールドにして、「どんぐりs」の子ども部会「どんぐりっこ」が、昨春からスタートしました。子どもゆめ基金からの助成金で年6回のイベントを企画しましたが、3月21日の「ヨモギ染めとヨモギだんごを作ろう」が今年度最後のイベントとなります。初回から6回連続でフル参加のご家族がみえたり、回を重ねるごとにリピーターの方が増え、最後のイベントでは大変有り難いことに1ヶ月前の時点で10名のキャンセル待ちの方がみえるくらい参加者が増えました。

これもお忙しい中スタッフとして駆け付けて下さる「どんぐりs」の皆さんのお力添えや子育てで大変な中、夜遅くまでの打ち合わせをこなし運営に携わってくれている「どんぐりっこ」メンバーのおかげです。あらためて心より感謝申し上げます。

イベントの内容としては、高森山を散策しながら自分自身で採取したその季節ならではの植物などを用いて様々なものを作ったり、調理して食べたりする事を楽しみました。その際、火を炊くことも活動に取り入れ、安全な場所でマッチを擦ったりするなどの経験も子ども達にして貰いました。昨年の夏に高森山の隣りにオープンしたホンダロジコム株式会社の公園walkable parkフルットのバーベキュー場を使わせて頂けたのも大変有り難かったです。

春日井には沢山の野外活動をしているグループがありますが、「どんぐりっこ」の一番の特色は、実際に整備をしている「どんぐりs」の皆さんから子ども達が直接高森山の自然について話しを聞けるところにあります。また、幅広い様々な世代の大人達と触れ合える事も今の子ども達にとってと



ても貴重で、色々な世代の交流の場であるのもどんぐりっこの魅力の一つになっています。また、来年度に向けて高森山の自然について更に学びを深め、パワーアップした内容で参加者の皆さんに楽しんで頂けるよう努めていきたいと思ひます。



晴天の1月17日、高森山で落ち葉遊びのイベントを開催しました=写真。子供たちは、落ち葉掻きをしながら、地面に光が届き地中の種子が発芽するためには実は落ち葉掻きがとても重要である事を学びました。また、ビートルベットに集めた落ち葉が腐葉土になりその栄養のあるフカフカのベッドがカブトムシの幼虫を育てる事も知りました。

ビートルベットの中へ入って跳んだりはねたりしながら沢山の生き物を見つけた子ども達ですが、きっと遊びながらも様々な事を感じとってくれたのではないかと思います。最後にダンゴになって転がりながら大興奮の落ち葉滑りも楽しみました。

(作本 あゆみ)

昆虫標本の公的保管施設を要望

未来に繋ぐ貴重な資料、市民の協力が不可欠

昆虫と向き合って半世紀余りとなるが、2年前から故人のご遺族から昆虫標本の引取要請が2件あり応じてきた。故人が生涯をかけて採集保管をしてきた標本で絶滅危惧種など貴重なものも多く含まれている。私の標本を含め250箱と他に未処理昆虫を約1万頭保管しているが、個人の家では保管整理の場所に限界がある。標本は未来への重要な資料だか、残念ながら後世に引き継ぐ場所が無いのが実状だ。春日井市の協力を得て探していただいているものの展望は厳しい。

1月に新聞に投稿したところ、幸いにも同じ事で悩む化石研究団体から連絡があり、愛知県内に自然史博物館（愛知は全国唯一、県立が無い）を作る運動に加わって欲しいとの話があった。しかし、出来るとしても相当の年月がかかるものと思われ、当面の仮保管場所が必要な事に変わりはない。今後の運動に市民の協力は不可欠であり広く発信して行きたい。（山口 正恵）

私の朝・昼・晩

自民党圧勝がもたらすもの

総選挙は自民党の予想外の圧勝となった。私は、衝撃を通り越し戦慄が走った。高市首相人氣が勝因という。彼女は総務大臣の時、国の電波配分権を振り回してテレビ局を脅し放送内容に注文を付けた。それを抑止しようとした総務次官はあっさり首にされた。報道の自由など眼中になく、権力の乱用に躊躇しない人間だ。

最近では、国会答弁で「台湾有事は日本の存立危機事態」、つまり「自衛隊を派遣し中国と戦う」と表明したのだ。危険で軽率極まりない発言だ。「日本は、台湾の独立支援のために戦争する気だ」と誤解されても仕方ない。

財政規律無視の無責任なバラマキ財政。トランプ米大統領への盲従と大規模軍拡。平和憲法への敵視と極右体質。こんな軽薄で暴走する人物が衆院の3分の2を超す議席を得た。参院で否決されても衆院で再可決できる数だ。高市信奉者には「鬼に金棒」だろうが、私は「気違いに刃物」とならないか心配だ。（明賀 雄二）

5月24日、高蔵寺どんぐりs総会

NPO高蔵寺どんぐりsの定時総会を以下の要領で開催します。会員の方はぜひご参加をお願いします。

- 日 時 5月24日（日）午後1時半～同4時
- 場 所 グルッポふじとう 3階B会議室

「ツツジを見よう会」4月4日開催

高森山の春を薄紫色に染める1000本余のコバノミツバツツジを堪能する「ツツジを見よう会」が、4月4日に開催されます。高森山の魅力を広く知ってもらおうと、「どんぐりs」が主催するもので、散策しながら自然観察に詳しい当会の会員が草木の植生、鳥や昆虫などの生態をガイドします。高森山公園グラウンドで、午前9時半から同11時半まで受付、グループに分かれ、順次ガイドが案内します。参加費は無料で予約の必要もありません（雨の場合は翌5日に順延）。健脚コース、普通コースがあり、小さなお子さんでも安心して歩けます。楽しいネイチャーゲームも用意しています。

住まいの困りごと無料相談

- 電話または直接面接会場にお越しください。
☎080-5297-8956（長谷川）
- 面接相談会日・会場
3月8日（日）グルッポふじとう
4月12日（日）グルッポふじとう
（いずれも13:30～15:30）
・当会員の一級建築士が相談の応じます。

暮らし相談 ハート・ほっと・ルーム

- 暮らしや心の悩みを語り合いましょ。
- 開催日・会場
3月22日（日）養楽福祉会たかもり
= 高森台5-6-6「カフェはなもも」の隣り
（13:30～17:00）
- 連絡先：☎090-6330-4393 参加費：無料
- 専門家による個別相談、別途予約受付けます